



ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究

■研究概要■

政府主導の「地方創生」がうたわれる中、長期的な視点に立った人づくりによる地域創生を目的として、学校や地域における子どもから大人までを対象とした、ESDによる多様な教育と学びによる持続可能な地域づくりの担い手を育てるための実証研究を実施。

■研究の目的・意義■

- ・ESD地域創生研究センターを設置する。
- ・連携自治体に「ESD地域創生研究会(仮称)」を創設し、ESDによる地域創生の拠点とする。
- ・ESD先進事例を持続可能性指標を用いて評価する。
- ・ESD地域創生プログラムの提示と活用を促進する。
- ・ESDによる地域創生を通じて、国際的に活躍できるグローバル人材を育成する。

おもな講演会とシンポジウム

●シンポジウム

2016年3月5日
ESD×地域創生
-地域創生に果たす人づくりの役割-

各地域での地域づくりの事例報告をふまえて、ESDによる地域創生の可能性と「人づくり」の意義について議論を行った。

講師:

- ・吉本哲郎氏(熊本県水俣市)
- ・前田剛氏(長崎県対馬市)
- ・阿部裕志氏(島根県海士町)
- ・及川幸彦氏(宮城県気仙沼市)
- ・池田満之氏(岡山県岡山市)
- ・辻英之氏(長野県泰阜村)

●連続講演会①

2016年6月21日
地方創生のための人づくり
(地方創生カレッジ)と外部人材
の活用(地域おこし協力隊)

講師: 椎川忍氏
(一般財団法人 地域活性化センター理事長)

●連続講演会②

2016年7月12日
「緑のふるさと協力隊」から見る
地域づくりと人づくり

講師: 新田均氏
(NPO法人 地球緑化センター理事長)

●連続講演会③

2016年7月28日
「やねだん(柳谷集落)」の取り組みから見る地域創生と人づくり

講師: 豊重哲郎氏
(鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館館長)

●連続講演会④

2016年11月29日
地域が発する問いと向き合う学習

講師: 飯島博氏
(認定NPO法人 アサザ基金代表理事)



ESD研究連携覚書締結

ESDの実証研究を通じ、地域創生、またその地域創生を担う人材育成に寄与することを目的として、ESD研究連携に関する覚書を締結した。

- ESDによる地域創生を目的とした大学と自治体の覚書締結は全国で初めて。
- ESDの実証研究を通じ、地域創生と、地域創生を担う人材育成をめざす。
- 国内の諸地域でカスタマイズ可能なESD地域創生プログラムを提示し、活用を促すことをめざす。

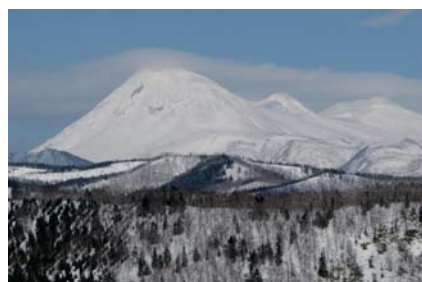
●長崎県対馬市

対馬市は、九州と朝鮮半島の間に“飛び石的”に位置し、日本の中で朝鮮半島に最も近いという地理的条件から、稲作、仏教、漢字など大陸文化を伝える日本のフロンティアとして、また、朝鮮通信使に代表されるよう日韓交流の拠点として外交上重要な役割を果たしてきました。歴史文化だけでなく、ツシマヤマネコ(絶滅危惧IA類)をはじめとする大陸系・日本系・共通系・対馬固有の動植物が混在するユニークな島として知られています。



●北海道羅臼町

世界自然遺産・知床半島の東側に位置する羅臼町は、半島中央を走る知床連山を背に根室海峡を隔てて広大な国後島と向き合う雄大な自然に囲まれた町です。羅臼町の暮らしは海とともにあり、知床連山の森林から流れる川と、オホーツク海からやってくる流氷がもたらす豊かな海では、多種多様な魚が漁獲されます。また、時に厳しい姿を見せる自然と共存するために生み出された暮らしの知恵が、羅臼町独特の魚の文化となり、現在まで息づいています。



●静岡県西伊豆町

西伊豆町は、静岡県東部、伊豆半島西海岸の中央に位置し、西側は駿河湾に、東側は急峻な山並みの天城山系が連なり、北と南にその支脈が海岸まで迫っています。黒潮の影響を受け、年間を通じて温暖な気候の西伊豆町では、四季折々に、朝に夕にと表情を変える美しい自然がみられ、富士箱根伊豆国立公園及び名勝伊豆西南海岸の指定を受けた自然景観や水平線に沈む美しい夕陽は、まちの誇りです。

